

見つけたら刈取る

「ゼンソク」の敵セイタカアワダチ草

ゼンソク病の要因といわれている「セイタカアワダチ草」は害草で市内各所に茂っており、とくに国道1号線沿いと沼津線沿いに繁殖しています。市みどりの課、環境保全課、農政課では見つけたら刈取って欲しいと強く市民に呼びかけています。この害草の「セイタカアワダチ草」は繁殖力が強く、他の植物を絶やす大敵で、キク科に属しています。また多年草で長い地下茎をひき、茎は高さ1~2.5m、花部以外は一般に枝を出さず多くは紫黒色に染まり短毛を密生してザラついています。葉は密接してつき、きよ歯は低く、葉質厚くて短毛があってザラつき両へりが下面に向かい曲がる傾向がありま

す。花枝は著しく広く開き多数の黄色の頭花をつけています。また「ブタ草」も同じようにゼンソクの敵で見つけたら刈取って下さい。



富士勤労体育センター着工 完成は53年2月末予定

市では、中小企業に働く勤労者のための体育施設を充実し、同時に勤労者の雇用の安定に資することを目的として、雇用促進事業団と市の共同により市内大淵萩の原111番地の1地内（富士市総合運動公園敷地内）に建設することになり、去る9月28日起工式が行われました。

◇工期 着工昭和52年9月28日
竣工予定昭和53年2月

末日

- ◇建設規模 鉄骨平家建、延床面積2,174.01平方m
- ◇事業費 1億9千7百50万円
- ◇体育設備
 - ①バレーボール（公式用2面、ただし練習用3面）
 - ②バスケットボール（公式用2面）
 - ③バトミントン（8面）
 - ④トレーニングルーム

麻薬、覚せい剤禍を みんなで撲滅しよう

「恐しい麻薬、覚せい剤禍をみんなで撲滅しよう」と去る11月1日から11月30日まで全国いっせいに運動を実施しています

最近、覚せい剤犯罪が全国的にまん延し、大きな社会問題となってきました。また、麻薬犯罪もいつ、再び火をふくか油断がなりません。このような憎むべき社会悪の徹底的な撲滅を期するためには、強力な取締りを行うことも必要ですが、同時に国民一人一人にこの麻薬、覚せい剤の恐ろしさを十分認識していただいて、みんなでその絶滅に努力してゆかなければなりません。

▶麻薬、覚せい剤は魔の薬です
麻薬、覚せい剤は、誤った使い方をしますと、個人にとってだけでなく社会にも計り知れない害悪をもたらす非常に危険な薬です。麻薬は、これを続けて使用しますとやがて麻薬なしではいられない状態、即ち麻薬中毒となります。そして、麻薬を入手するためには、家財を売ったり、あるいは窃盗、詐欺、売春などの悪事を平気で犯すようになります。



「私が見た富士市」⑧

久沢 渡 辺 秀 子

私達家族は通勤、通学等の関係で昭和39年春から富士市にお世話になっております。当時は環境衛生が徹底しておらず、製紙の悪臭、大気汚染に大へん悩まされました。昼近き頃になるときまって製紙の蒸気をぬく音、急いで窓をみんな閉めます。それでも家の中は悪臭で一杯になり食事も半減する程でした。人ばかりでなく、樹木もやられました。主人が盆栽や植木がすきで、沢山もって来たのが次々と枯れました。最初に

やられたのが庭木の紅梅でした。主人は大へんがっかりし、その幹で盆栽の台を作りました。次に紅葉と沙羅が枯れ赤松の弱い事を知りました。木犀は花も咲かず、だんだん木が下に沈んで行く様になりました。これはたいへんと主人は植木を上井出に移植して助けました。それが13年たった今はどうでしょう、赤松の盆栽も生き生きと育ち、小梅を植えたのが今年は10キログラムも実がなりました。悪臭もなくなり大へん住み良くなりました。これも市の行政各位のご努力の賜と感謝致しております。名実共に日本一の富士の名をもつ富士市、豊かで環境優美なそして明るい住みよい富士市がずっと続いて行く事を願いつつ。